

履修学年	科目	必修	授業形態	単位数
高校2年	コミュニケーション英語Ⅱα		合同	6単位

教科書 CROWN English Communication II (三省堂)	副読本 Database4500 (桐原書店) Database Workbook(桐原書店) Reading Flash 1 (桐原書店) Next Stage 英文法・語法問題 (桐原書店) CROWN総合英語 (三省堂) CROWN Workbook 47Lessons (三省堂) CROWN Textbook 47 Lessons (三省堂)
---	---

目標・ねらい 1 教科書の単元で扱われる内容を通して、言語や文化に対する理解を深める。 2 単元内容を理解するとともに、自らの意見を適切に伝えるための文法事項等についての知識を習得する。 3 授業での課題等を通して自己表現の機会を設け、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。
---

注意事項 (学習方法・長期休業の課題など)  1 学習方法 (1) 予習 ア SV0の形を可視化する記号をつけながら、セクションを読み通す。 イ 各セクションの内容に対して、英語で自分の意見を書く。 ウ ブックレット (Lessonの内容理解のための小冊子) に取り組む。  (2) 授業中 ア 帯活動 (Small Talk/リスニング/速読等) イ オーラル・イントロダクション ウ リスニングによる概要把握 エ 新出語彙の確認 オ 本文の内容理解と音読 カ 新出文法のルールを理解とそれを使った自己表現 キ 自己表現 (Presentation/Essay) ク Vocabulary Quiz (レッスン毎), DataBase Quiz (週1回), Next Stage Quiz (週1回)  (3) 復習・宿題 ア ブックレットを読み返す。 イ 本文の音読 ウ 読解 (長文問題集, その他の長文) エ DataBase Workbook, Next Stage オ CROWN総合英語Workbook  2 長期休業の課題 (1) DataBase 100 Quiz (2) Next Stage 100 Quiz, Next Stage Idiom Quiz (3) その他、必要に応じて指定される課題
---

評価について		
項目	割合	授業時における項目
定期試験	60	定期試験
発表	40	Presentation, Essay
小テスト		Vocabulary, DataBase, Next Stage Quiz
提出物		ブックレット、長文問題集、文法問題集、リスニングディクテーション等

年間授業計画表

	単元	目標
前期	Lesson 1 Around the World on a Bike 関係代名詞の非制限用法/不定詞の意味上の主語/動名詞の意味上の主語 Lesson 2 Into Unknown Territory 関係副詞の非制限用法/受け身・否定の分詞構文/S+V+O (O=whether節)  Hyper Listeningのリスニング演習 FACTBOOK 比較・仮定法 (昨年度の続き)  中間テスト	○劇作家・平田オリザが、16歳の時に決意したアメリカ・ヨーロッパへの自転車一人旅を通して、その後の人生に与えた影響について考える。 ・若いときに経験した旅を通して、実際に平田が自分の目を通してなにを感じ取ったかを読み取る。 ・若いときの冒険とはなにか考える。  ○史上最強の棋士といわれる羽生善治の勝負観、さらには人生哲学に触れる。 ・羽生の強さの秘密を考察する。 ・直感に基づいた判断について、自分の経験を思い出しながらかえる。 ・日本の伝統文化に触れる。 ・将棋や人生にとっても大切な我慢強さについて、自分の考えをまとめて発表する。
	Lesson 3 OOPARTS 前置詞+関係代名詞/助動詞+have+過去分詞/It is known that ~. Lesson 4 Crossing the Border 不定詞+前置詞/完了進行形/強調構文  リスニング問題集の演習 長文問題集の演習 文法問題集の演習  GTEC/期末テスト	○世の中にある、過去における当時の技術では考えられない「不思議な人工物」について、その存在を知る。 ・世界にある「不思議なもの」のいくつかの具体例を通して、その不思議さの秘密を読み取る。 ・世界にある「不思議なもの」の中から、自分の興味のあるものを選び、簡潔にまとめて発表する。 ・「オーバーツ」の存在について、自分の考えを発表する。  ○「国境なき医師団」に参加した貫戸朋子医師の活動を通じて、国際協力について考える。 ・貫戸医師の伝えたい想いをしっかり読み取る。 ・国際協力をする上で重要なことに気づく。 ・「貫戸医師のとった判断」について、自分の考えを発表する。
後期	Lesson 5 Saving Cherokee 複合関係詞/不定詞の完了形/比較級+than S+V Lesson 6 Ashura —A Statue with Three Faces— 結果を表す不定詞/倒置/無生物主語の他動詞構文  リスニング問題集の演習 長文問題集の演習 文法問題集の演習 秋中間テスト	○ネイティブ・アメリカンであるチェロキーの母語を守る闘いを通して、民族にとって母語を失わないことの意味を考える。 ・母語のチェロキー語を守るために闘い続けたチェロキーの歴史を通して、民族にとって母語とはなにかを考える。 ・言語と認識の関係について考える。  ○興福寺・阿修羅像の魅力を探るとともに、奈良時代の東洋と西洋の交流について知る。 ・人々が阿修羅像に魅かれる理由を考える。 ・「仏像に癒しを求めること」について、自分の考えを発表する。
	Lesson 7 Why Biomimicry? 仮定法現在/if節のない仮定法/仮定法未来 Lesson 8 Working against the Clock 完了の分詞構文/受け身の進行形/S is C (C=whether節)  リスニング問題集の演習 長文問題集の演習 文法問題集の演習 冬中間テスト/GTEC	○新素材・新技術を動植物から学ぶ「バイオミミクリー」を通して、自然との共生について考える。 ・自然「から」学ぶという態度の重要性を考える。 ・自然と人とのつながり、「共生」について考え、共有する。  ○ロボットによる地雷除去活動を通じて、社会貢献活動が陥りやすい問題を理解する。 ・本課で地雷について学んだことを、的確にまとめる。 ・国際貢献、平和貢献の努力について知る。
	Lesson 9 The Long Voyage Home 独立分詞構文/未来進行形/未来完了形 Lesson 10 Grandfather's Letters 不定詞の受け身/動名詞の受け身  リスニング問題集の演習 長文問題集の演習 文法問題集の演習  学年末テスト	○「はやぶさ」の技術的な特徴やミッションの概要を知る。 ・「はやぶさ」プロジェクト成功の理由を読み取る。 ・「はやぶさと私たちの日常生活との関係」について、自分の考えをわかりやすく発表する。  ○家族愛のこもった絵手紙に触れ、電子通信にはない手紙の良さについて考える。 ・手紙の利点・欠点、メールの利点・欠点について話し合う。 ・「メールと手紙の利点など」について、自分の考えを発表する。

履修学年	科目	必修	授業形態	単位数
高校2年AE	コミュニケーション英語Ⅱβ		一斉	6単位

教科書 CROWN English Communication II (三省堂)	副読本 総合英語FACTBOOK (桐原書店) Database4500 / Next Stage 英文法・語法問題 Listening Platform Change the World
---	--

<p>目標・ねらい</p> <p>1 英語の学習を通じて、様々な問題について興味・関心を深め、自らの考え、意見を持つ。</p> <p>2 自己表現のためのツール（文法、語彙、論理展開）を身に付ける。</p> <p>3 自己表現の経験を積むことによって、自己表現力を身に付ける。</p>
--

<p>注意事項（学習方法・長期休業の課題など）</p> <p>1 学習方法</p> <p>(1) 予習</p> <p>ア 事前に指定されたHomework Assignment (Lesson 冊子内容やワークブック等)</p> <p>(2) 授業中</p> <p>ア 帯活動 (Speaking/Listening /Reading)</p> <p>イ オーラル・イントロダクション/復習 (新出語彙・本文音読・弾丸インプット)</p> <p>ウ リスニングによる概要把握</p> <p>エ 新出語彙の確認</p> <p>オ 本文の内容理解と音読</p> <p>カ 新出文法のルールの理解とそれを使った自己表現</p> <p>キ 自己表現 (Presentation/Essay)</p> <p>ク Vocabulary Quiz (Lesson毎), DataBase Quiz (週1回), Next Stage Quiz (週1回)</p> <p>(3) 復習・宿題</p> <p>ア Lesson 冊子内容</p> <p>イ FACTBOOK</p> <p>ウ DataBase</p> <p>エ Next Stage</p> <p>2 長期休業の課題</p> <p>(1) DataBase 100 Quiz</p> <p>(2) Next Stage 100 Quiz, Next Stage Idiom 100 Quiz</p> <p>(3) Summer / Winter / Spring Work</p>
---

評価について

項目	割合	授業時における項目
定期試験	60	定期試験
自己表現 (発表)	40	Communication Card, Presentation, Essay
小テスト		Vocabulary / DataBase / Next Stage Quiz
提出物		CROWN冊子、文法問題集

年間授業計画表

	単元	目標
前期	<p>Guidance</p> <p>Lesson 1 Around the World on a Bike 関係代名詞の非制限用法/不定詞の意味上の主語/動名詞の意味上の主語</p> <p>FACTBOOK Listening Platform Change the World</p> <p>Lesson 2 Into Unknown Territory 関係副詞の非制限用法/受け身・否定の分詞構文/S+V+O (O=whether節)</p> <p>前期中間テスト</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の目的、やり方、課題、評価方法を知る。</li> <li>若いときに経験した旅を通して、実際に平田オリザが自分の目を通してなにを感じ取ったかを読み取る。</li> <li>平田オリザが感じ取った内容について、自分の考えを書く。</li> <li>品詞について学び、文中で的確に使えるようになる。</li> <li>リスニング問題集と長文問題集の学習方法を知り、課題を提出する。</li> <li>羽生さんのインタビューを読み、その強さの秘密を読み取る。</li> <li>将棋や人生にとっても大切な我慢強さについて、自分の考えを書く。</li> </ul>
	<p>Lesson 3 OOPARTS 前置詞+関係代名詞/助動詞+have+過去分詞/It is known that ~</p> <p>これまでの学習で疑問点が多い文法事項 Listening Platform Change the World GTEC</p> <p>Lesson 4 Crossing the Border 不定詞+前置詞/完了進行形/強調構文</p> <p>前期末テスト</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界にある「不思議なもの」のいくつかの具体例を通して、その不思議さの秘密を読み取る。</li> <li>教科書に出ていない「オーパーツ」についてリサーチし、発表する。</li> <li>既習の文法学習で疑問点が多い文法事項を復習し理解する。</li> <li>Listening問題集と長文問題集を使い、Listening力と速読力を伸ばす。</li> <li>GTECの練習をし、受験する。</li> <li>貫戸医師の伝えたい想いを読み取る。</li> <li>国際協力上で重要なことについて自分の考えを書く。</li> </ul>
後期	<p>Lesson 5 Saving Cherokee 複合関係詞/不定詞の完了形/比較級+than S+V</p> <p>Lesson 6 Ashura--A Statue with Three Faces-- 結果を表す不定詞/倒置/無生物主語の他動詞構文</p> <p>Listening Platform Change the World</p> <p>秋中間テスト</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>母語のチェロキー語を守るために闘い続けたチェロキーの歴史を読み取る。</li> <li>民族にとって言語とはどういうものかについて、自分の考えをスピーチする。</li> <li>人々が阿修羅像に魅かれる理由を読み取る。</li> <li>「仏像に癒しを求めること」について自分の考えを書く。</li> <li>文法問題集で文法の基礎を固める。</li> <li>Listening問題集と長文問題集を使い、Listeningと長文読解力を伸ばす。</li> </ul>
	<p>Lesson 7 Why Biomimicry? 仮定法現在/if 節のない仮定法/未来に関する仮定法</p> <p>Lesson 8 Working against the Clock 完了の分詞構文/受け身の進行形/S is C (C=whether節)</p> <p>Listening Platform Change the World</p> <p>冬中間テスト/GTEC</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自然から学ぶ」という態度の重要性を読み取る。</li> <li>自然と人のつながり、「共生」について考え、議論する。</li> <li>「自然と人間との関係」について、自分の考えを書く。</li> <li>地雷と地雷除去活動について読み取る。</li> <li>日本による国際貢献、平和貢献についてリサーチし、発表する。</li> <li>国際貢献、平和貢献について自分の考えを書く。</li> <li>文法の基礎を固める。</li> <li>問題集を使い、Listening力と速読力を伸ばす。</li> </ul>
	<p>Lesson 9 The Long Voyage Home 独立分詞構文/未来進行形/未来完了形</p> <p>Lesson 10 Grandfather's Letters 不定詞の受け身/動名詞の受け身</p> <p>Listening 問題集・長文問題集</p> <p>学年末テスト</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「はやぶさ」プロジェクト成功の理由を読み取る。</li> <li>「はやぶさと私たちの日常生活との関係」について、自分の考えを書く。</li> <li>物語を読み、その概要を読み取る。</li> <li>手紙の利点・欠点、メールの利点・欠点についてディスカッションする。</li> <li>「メールと手紙の利点など」について、自分の考えを書く。</li> <li>文法問題集で文法の基礎を固める。</li> <li>Listening 問題集・長文問題集に取り組み、Listening 力と速読力をつける。</li> </ul>

履修学年	科目	必修	授業形態	単位数
高校2年	英語会話 α		Divided	1単位

教科書 My Passport English Conversation (文英堂)	副読本 -教師が作成した教材 (グループ・クラスルーム)
<b>目標・ねらい</b> In the Senior 2 English Conversation α course, students will work to improve their English language interaction and production (conversational, presenting, and writing) skills. Students will have opportunities to develop their critical thinking, creative thinking, self-management, and collaboration skills while exploring current global issues from multiple perspectives.	
<b>注意事項(学習方法・長期休業の課題など)</b> <b>Class Activities (授業活動):</b> - Students will regularly use English to discuss their perspectives and complete activities collaboratively. - Pair/group work will be required for many activities and assignments. - Students will be expected to give presentations in front of classmates and St. Joseph community audiences.  <b>Assessment and Evaluation (アセスメント・成績):</b> - Students will be assessed (フィードバックをもらう) on their (1) holiday project work, (2) summative term projects (interview, essay, presentation, etc.) at the end of each term, and (3) formative practice tasks (worksheets, recordings, etc.) assigned in class and as homework. - Student evaluation (成績) will be based on students' (1) submitted project records, (2) summative term project tasks, (3) class participation, and (4) student self-assessment.  <b>Major Learning Assignments (主な学習課題):</b> - Holiday Projects (Golden Week, Summer, Winter) - Discussion Project (Term 1) - Research Project (Term 2) - Homework Assignments (Google Classroom)  <b>Class Participation and Homework (授業参与と宿題):</b> - Class materials will be provided as paper handouts and digitally on the Google Classroom platform. - When a student is absent from class, they should meet with their unit teacher (in person or on Google Meet) to review the class materials before the next lesson to actively participate in the class. - A light amount of homework will be assigned to support students' independent learning and self-management skills. While homework will not be included in the student evaluation (成績), students will receive feedback on their homework assignments from their classmates and teachers. Students are expected to complete homework assignments in a timely manner to actively participate in class and prepare for summative term projects.	

評価について

項目	割合	授業時における項目
Holiday Projects	30	Project written report, project speech (x3)
Term Projects	40	Paper test, discussion exam (interview-style) (Term 1); Research essay, research presentation, paper test (Term 2)
Class Participation	20	Attendance/teacher-consultation, Google Classroom & group work participation, in-class contributions, homework
Student Self-assessment	10	Reflection assignments, student rubrics

年間授業計画表

	単元	目標
前期	<b>Unit 1A: A Global Mindset (4月-5月)</b> <b>Focus:</b> • UN member countries • Academic discussion standards (academic writing review) • Language modes and awareness • Classification (fact vs. opinion) • Supporting and challenging ideas <b>Project:</b> Golden Week holiday project <b>Participation:</b> Google Classroom weekly assignments, group discussions <b>Self-assessment:</b> Student goal inventory ※ No test during midterm exam period	(1) Review academic writing standards and essay format (2) Improve students' understanding of different modes of language (3) Increase students' knowledge of other countries through inquiry-based independent research (4) Develop students' critical thinking skills with a focus on distinguishing facts and opinions (5) Expand students' discourse techniques for agreeing and disagreeing with presented information and ideas
	<b>Unit 1B: Global Events (6月-7月)</b> <b>Focus:</b> • Current global events • Discussion roles and speech skills • Transitional phrases • Opinions and reasoning <b>Term Project (Term Exam):</b> Paper test (exam period), discussion test (end of July) <b>Participation:</b> Google Classroom weekly assignments, group discussions, current event announcements <b>Self-assessment:</b> Student goal inventory reflection, discussion exam rubric	(1) Review academic speech/presentation skills (eye contact, enunciation, gestures, etc.) with current event announcements (2) Expand students' discussion skills with a focus on transitional phrases and linking words (3) Develop students' reasoning and logical expression with a focus on using supplementary information (facts) to support opinions (4) Prepare students for deeper peer- and self-evaluation and feedback
	<b>Unit 2: Global Issues (9月-10月)</b> <b>Focus:</b> • Global issues • Perspectives (objective vs. subjective) • Persuasive language (debate and writing) <b>Project:</b> Summer holiday project <b>Participation:</b> Google Classroom weekly assignments, group discussions, writing tasks <b>Self-assessment:</b> Student goal inventory reflection ※ No test during fall midterm exam period	(1) Allow students to explore global issues that connect to their everyday lives and individual talents (2) Improve students' understanding of objective and subjective language with reference to understanding diverse perspectives and bias in communication (3) Develop students persuasive reasoning and expression through debate and persuasive writing activities (4) Foster students' reflection and self-management skills with the summer holiday project
後期	<b>Unit 3A: Global Systems (11月-12月)</b> <b>Focus:</b> • Research skills (academic integrity) • Academic writing skills (outlines) <b>Participation:</b> Google Classroom weekly assignments, writing tasks, peer-revision <b>Self-assessment:</b> Student goal inventory reflection, self-revision ※ No test during fall midterm exam period	(1) Expand students' inquiry abilities, focusing on sustainable global systems (2) Review how to critically evaluate sources, use citations and works cited pages, and integrating research into your own writing and presentations (3) Develop students' writing and revision process (4) Prepare students to engage in peer-revision (5) Deepen students' understanding of academic integrity and research collaboration
	<b>Unit 3B: Our Global Future (1月-2月)</b> <b>Focus:</b> • Academic writing (research paper) • Academic presentation <b>Project:</b> Winter holiday project <b>Term Project (Term Exam):</b> Paper test (exam period), research presentation and essay (February) <b>Participation:</b> Google Classroom weekly assignments, peer-review <b>Self-assessment:</b> Student goal inventory reflection, research project rubric	(1) Foster students' abilities to communicate similar information in spoken (presentation) and written (essay) modes (2) Deepen students' revision and editing knowledge (3) Further develop students' peer-revision and feedback skills (4) Promote student reflection, goal-setting, and growth mindset for future learning

履修学年	科目	必修	授業形態	単位数
高校2年AE	英語会話β		Together	1単位

教科書 書名(出版社) None	副読本
------------------------	-----

目標・ねらい The goals of the Senior 2 Advanced English Conversation Class are to help the students improve their English output (conversational speaking, presentation speaking, and writing) and critical thinking skills, as well as foster an environment where students feel confident in expressing their thoughts and opinions. Students will also be exploring topics in English with the aim of creating international-mindedness and a sense of ownership in the global issues that impact their future.

注意事項(学習方法・長期休業の課題など)

In Class:  
Students will use English expressions to discuss their interests, opinions, likes and dislikes. To broaden their thinking, discussion topics will range from the personal to news, human interest stories, culture, countries, and global social and environmental issues. Pair work or group work will be required for some activities and assignments. Students are expected to give presentations in front of classmates and St. Joseph community audiences.

Assessment:  
Assessment for this class is project-based, and the approach is "production-based learning." Testing and test-based results are not the most important assessment.

Project Assignments:  
- 3 Holiday Projects  
- A Speech Project  
- A Research Project  
- A Persuasive Project

Exams:  
- 2 End of Term Exams  
- 1 Speaking Test / Discussion Exam

Class Participation  
- Class materials will be provided as handouts and digitally on the Google Classroom Platform.  
- When a student is absent from class, they should meet with their unit teacher (in person or on Google Meet) to review the class materials before the next lesson to actively participate in the class.  
- There will be some homework assignments, both hand-written and on Google Classroom.

評価について

項目	割合	授業時における項目
Holiday Projects	30	Project written report and project speech (x3)
Term Projects	40	Project written report, Paper test, discussion exam (Term 1) Research essay, research presentation, paper test (Term 2)
Class Participation	20	Attendance/teacher consultation, Google Classroom activities, groupwork participation, class contributions, homework
Student Self-assessment	10	Reflection assignments, student rubrics

年間授業計画表

	単元	目標
前期	Unit 1A: A Global Mindset (4月 - 5月) Focus: • Review of Writing Standards (Essay) • Countries in Asia • Fact vs. Opinion • Critical Evaluation In-class Speaking Exercise: Introduction Projects: Golden Week Holiday Project Participation: Google Classroom assignments, group discussions Self-assessment activities Midterm Exam: None <input type="checkbox"/>	(1) Review the writing standards and essay format. Students will be asked to increase their output from last year. (2) Expanding students' awareness of Japan's place in the global context through discussions and activities about countries in Asia. (3) Recognize the difference between facts and opinions (context: other countries) and be able to use both in writing and discussion. (4) Students will give a speech on a topic of their choosing, creating an opportunity for student-led discussion.
	Unit 1B: Global Events (6月 - 7月) Focus: • Speech Skills • Opinion & Justification • Transition words Participation: Google Classroom assignments, group discussions, class speech / announcements Self-assessment activities Term Project: (Speech Project) Project written report and speech Exams: End of Term Exam <input type="checkbox"/>	(1) Speech Skills: review Hooks and review what students should do to make a good speech. (2) Opinion & Justification: Explore how to use facts to justify your opinions. (3) Transition words will help students write clearer essays and speeches. (4) Speech Project focuses on implementing speech skills and taking the audience's perspective into consideration.
後期	Unit 3: Interrelated Issues (9月 - 10月) Focus: • Objective vs. Subjective • Writing Deeper Reasons • Topics in Global Citizenship Projects: Summer Holiday Project Participation: Google Classroom assignments, group discussions, writing tasks Self-assessment activities Tests: Speaking Test / Discussion Exam	(1) Students will study about the differences between Objective & Subjective thinking, as well as why it is important to try to be objective in academic writing. (2) Students will learn how to write deeper reasons by making connections between issues. (3) Global Citizenship: Students will explore the complexity of global issues by learning how issues are interrelated. (4) The Speaking Test will gauge students' knowledge of the chosen topic, and their ability to express their opinions and reasoning.
	Unit 3A: Research Skills (11月 - 12月) Focus: • Research Skills • Environmental Issues Term Project: Research Project (planning, researching, writing, revising) Participation: Google Classroom assignments, writing tasks, peer-revision Self-assessment activities Winter Midterm: None	(1) Introduce students to global environmental issues they may not have heard of, and discuss how these issues relate to their lives. (2) Research Skills: build on last's year knowledge of critically evaluating sources, using citations and works cited pages, avoiding plagiarism, and integrating research into your own writing and presentations. (3) Research Project lets student utilize their research skills to present accurate information on a topic of their choosing.
	Unit 3B: Media (1月 - 2月) Focus: • Media Literacy Projects: • Winter Holiday Project • Persuasive Project (mini project) Participation: Google Classroom assignments, writing tasks, peer-review Self-assessment activities Term Project: Research Project presentation Exams: End of Term Exam.	(1) Media Literacy will help students evaluate the messages that they receive in their daily lives, and consider the positive and negative effects. (2) Persuasive Project lets students utilize persuasive techniques to express their opinion on a topic that they are interested in.

履修学年	科目	必修	授業形態	単位数
高校2年AE	Advanced English II		一斉	4単位

教科書	副読本
<p>目標・ねらい</p> <p>1 英語の学習を通じて、様々な問題について興味・関心を深め、自らの考え、意見を持つ。</p> <p>2 自己表現のためのツール（文法、語彙、論理展開）を身に付ける。</p> <p>3 自己表現の経験を積むことによって、自己表現力を身に付ける。</p>	
<p>注意事項（学習方法・長期休業の課題など）</p> <p>1 学習方法</p> <p>(1) 単元の学習</p> <p>ア Introduction（導入）</p> <p>イ Brainstorming / Listening / Reading</p> <p>ウ Useful Expressions / Vocabulary</p> <p>エ Research</p> <p>オ Preparation for Speech / Essay / Debate / Presentation</p> <p>カ Speech / Essay / Debate / Presentation</p> <p>キ Reflection（振り返り）</p> <p>(2) 予習</p> <p>ア Given assignments</p> <p>(3) 授業</p> <p>ア Short Speech（帯活動）</p> <p>イ Today's Activity</p> <p>(4) 復習・家庭学習</p> <p>ア Given Assignments</p> <p>2 長期休業の課題</p> <p>(1) 国際交流行事や海外語学研修等への参加</p> <p>(2) Holiday Project（コンテストへの参加）</p> <p>3 その他</p> <p>(1) 各種コンテスト（Speech Contest, Essay Contest）への参加</p> <p>(2) 英語4技能／外部試験の受験</p>	

観点	割合	授業時における項目
試験	40	定期テスト
発表（Oral and Written Expression）	40	Speaking Test, Parliamentary Debate, Essay, Presentation
意欲・態度	20	Communication Card, Homework Assignments

年間授業計画表

	単元	目標
前期	Guidance Everyday Activity: Short Speech  UNIT 1: Communication Skill (Logical Thinking) (1) Introduction (2) How your opinion can be logical (3) Useful Expressions (4) Practice (5) Speaking Test  中間テスト	(1) 積極的に発言する (2) スピーチに慣れ、スピーチスキルを身に付ける (3) 即興でコメントを言ったり、Q&Aをしたりすることができる (4) ニュースの内容を説明することができる (5) ニュースに対する自分の意見を言うことができる  (6) 全体とパラグラフの構成を踏まえて表現することができる (7) 論理的な理由を述べるることができる
	UNIT 2: Parliamentary Debate (1) Introduction & Trial (2) Useful Expressions for the Debate (3) Practice (4) Parliamentary Debate  期末テスト	(1) 与えられた命題に対して、肯定／否定の立場で論理的な理由付けができる。 (2) 相手の主張に対し、論理的な反駁ができる。
後期	UNIT 3: Global Issues / SDGs (1) Introduction (2) Listening / Reading (3) Vocabulary for Global Issues (4) How to describe facts (5) Research and Report  秋中間テスト	(1) 動画視聴、読む活動、リサーチを通して、貧困、紛争、子どもや女性の問題など様々な世界の問題について深く知り、考える。 (2) 世界の様々な問題に関する語彙を身に付ける (3) グラフや表など統計的な資料を使い、世界の問題についての事実を説明することができる。
	UNIT 4: Global Issues / SDGs② (1) Introduction (2) Research (3) Making the Presentation (4) Practice (5) Presentation (6) Reflection  冬中間テスト	(1) 世界の様々な問題から1つを選ぶ (2) 選んだ問題についてリサーチをする (3) データを含む事実を示した上で問題を指摘し、自分なりの解決方法を提案するプレゼンテーションを作成する (4) プレゼンテーションをする
	UNIT 5: To Make the World a Better Place (1) Introduction & Brainstorming (2) Research (3) Making the Presentation (4) Practice (5) Presentation (6) Reflection  学年末テスト	(1) 世界をより良い場所にするためにはどうすればよいか考え 独自の提案内容を考える (2) データを含む事実を示した上で問題を指摘し、自分なりの提案するプレゼンテーションを準備する。 (3) プレゼンテーションをする。

履修学年	科目	必修	授業形態	単位数
高校2年	現代文B		一斉	3単位

教科書 現代文B (筑摩書房)	副読本 頻出漢字熟語3000 (第一学習社) 新現代文単語 改訂版(いっすな書店)
<p>目標・ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近代以降の様々な文章を読むことで読解力を高め、ものの見方・感じ方・考え方を深める。</li> <li>言語活動や表現活動を通して、自己を表現する力を身につける。</li> <li>読書への興味関心を広げ、人生を豊かにする態度を育てる。</li> <li>大学受験を見据えた読解力・思考力・論述力・知識を身につける。</li> <li>小論文の書き方を身につける。</li> </ul>	
<p>注意事項</p> <p>学習方法</p> <p>予習</p> <p>指示された本文を読む(音読・読めなかった漢字、語句などをチェックする)。 分からない言葉を辞書で調べる(その際、調べたことが後で分かるように辞書に印をつける)。 重要漢字の書き取りをする。 形式段落に番号をふり、意味段落に分ける。全体の要旨をまとめる。</p> <p>復習</p> <p>ノートやプリントを見直し、本文の内容、構成、表現とその効果、などを把握する。 ノートは板書だけで終わらせず、自分なりにまとめ直す。 改めて本文の要旨をまとめる。課題作文(あるいは小論文)を書く。 教材に関連した書籍を読み、理解を深める。</p> <p>長期休業の課題</p> <p>読書感想文等、作文・小論文を中心に、適宜、問題集やプリントを用いる。 外部コンクールにも積極的に応募し、表現の素養を高める。</p> <p>その他</p> <p>副教材(現代文単語や問題集)を用いた学習内容の確認および演習を通年の課題とし、定期試験の出題範囲とする。 漢字テスト、現代文単語テスト、小論文対策、グループ学習、発表等も実施する。 高2までに漢字検定2級取得を目指す。</p> <p>※右記の計画は学年の状況に応じて変更することがある。 ※9～10月に集中的に表現活動・探究活動を行い、授業中の実践や成果物を評価するため、秋中間テストは行わないものとする。</p>	

評価について

項目	割合	授業時における項目
定期試験	60	定期試験4回
平常点	40	提出物・漢字テスト・単語テスト・発表作文・小論文・探求等

年間授業計画表

	単元	目標
前期	1 評論	1 評論……文章の論理展開を追いながら、その論旨を正確に読み取る能力を身につけ、論理的な思考力を養う。
	2 詩	2 詩……近代を代表する詩人の作品に触れ、日本語のバラエティーと響きの美しさを感じ取る。
	中間テスト	3 小説……登場人物の心情や思考を丁寧に読み解いて把握するとともに、ストーリーがどのように展開し、描かれているのかを意識しながら読み進める能力を養う。
後期	1 評論	1 評論……論理の展開を理解しながら筆者の主張を読み取り、社会や人間についての考えを深める。
	2 小論文指導	2 小論文……言語技術で身に付けた構成を意識して書く。自分の進路に結びついたテーマについて知識を深める。
	期末テスト	
後期	1 評論	1 評論……多様なテーマのさまざまな文章を読むことによって、具体例が導く抽象的な概念について考察する態度を養う。
	2 小説	2 小説……本格的な文学作品を読むことを通して、作品の成り立ちを含めた立体的な読みを構築する方法を学ぶとともに読書に親しみ、人生について考えを深め、生涯にわたって国語に関わる態度を養う。
	冬中間テスト	
後期	1 評論	1 評論……論理的な文章をその論理展開だけでなく、そこにこめられた筆者の物の見方・考え方を学び、人間や社会について考えを深める。
	2 小説	2 小説……フィクションの多様性を楽しみながら、人生や社会についての考えを深める。
	3 小論文	3 小論文……志望理由書、大学入試対応の課題を用いて、個別の進路に添って対策を行う。
	学年末テスト	

履修学年	科目	選択必修	授業形態	単位数
高校2年	古典総合		一斉	2単位

教科書 高等学校 古典B (明治書院)	副読本 読解をたいせつにする体系古典文法 (数研出版) つながる・まとまる古文単語500PLUS (いいずな書店) 改訂版 漢文句法マスターノート (数研出版) 改訂版 漢文重要語マスターノート (数研出版)
<b>目標・ねらい</b> ・古文や漢文を読む能力を養うと共に、作品に表れた人間・社会・自然などに対する思想や感情を読み取り、物の見方・感じ方・考え方を豊かにする。 ・古文や漢文を通して、日本文化の特質や中国文化の関係について考え、文学史的知識を深める。	
<b>注意事項</b> <b>学習方法</b> 予習 本文をノートに写し、品詞分解をする(※プリント等を使用する場合もある)。 本文中の重要古語の意味を調べ、現代語訳をする。 復習 教科書、ノート、プリント等を見直し、授業内容が理解できているか確認する。 本文すべてを現代語訳できるようになっているか確認する 問題プリントを解く。 小テスト 範囲を決めて、古文単語・漢文句法の小テストを行う。	
<b>長期休業の課題</b> プリントやテキストを課題とする予定。 副教材(古文単語集や漢文の習得)から範囲を決めて課題とする場合がある。 教科書の予習を課すことがある。	
<b>その他</b> 副教材(古文単語集や漢文の習得)から範囲を決めて定期試験の出題範囲とする。 グループ学習、発表等も機を見て実施する。	
※右記の計画は学年の状況に応じて変更することがある。 ※9～10月に集中的に表現活動・探究活動を行い、授業中の実践や成果物を評価するため、秋中間テストは行わないものとする。	

評価について

項目	割合	授業時における項目
定期試験	60～70	定期試験4回
平常点	30～40	提出物・小テスト・発表・探求等

年間授業計画表

	単元	目標
前期	古典文法(助動詞・助詞)の確認	高校1年で学んだ古典文法の復習を行う。
	文学史『上代から中古の文学』	上代から中古までの代表的な文学作品並びに時代背景を理解する。
	古文・説話	話の展開を楽しみながら、古典文法、重要古語等、古典学習の基礎的知識を定着させていく。
	漢文・故事逸話	正確な音読、重要語彙、重要句法等、漢文の基本事項を押さえつつ、故事成語の意味、成り立ちについて理解する。
	中間テスト	
後期	文学史『中世の文学』	中世の代表的な作品並びに時代背景を理解する。
	古典文法(敬語法)	古典文法の敬語法について理解し、必要事項を暗記する。
	古文・物語	敬語表現を手掛かりに主体を確認しながら、物語の流れを把握する。
	漢文・史話史伝	大きな歴史の流れも、常に具体的な事件・個々の状況を通して描かれるという中国史書の普遍的な手法を理解する。
	期末テスト	
	探究活動	
後期	文学史『近世の文学』	近世の代表的な作品並びに時代背景を理解する。
	古文・随筆	重要古語・古典文法を押さえつつ話の内容を理解し、作者の感じ方・考え方をつかむ。
	古文・歌物語	物語内容をしっかり押さえ、和歌をクライマックスとする歌物語の特徴について理解する。
	漢文・詩	漢詩の規則を一通り覚えるとともに、音読を繰り返し行い、漢詩の簡潔で格調高い表現を味わう。
	冬中間テスト	
	日記	古文の読解に必要な基本語彙・文法を確認しながら、作者の置かれた状況や心情をとらえ、自照文学としての日記文学の特性を理解する。
	寓話	これまでに学習した重要語彙・句法を復習しつつ、話に込められた寓意について考え、その背景にある思想の核心をつかむ。
	学年末テスト	

履修学年	科目	選択必修	授業形態	単位数
高校2年	古典研究		分割	2単位

教科書 新高等学校 古典B (明治書院)	副読本 読解をたいせつにする 要点プラス 体系古典文法 (数研出版) つながる・まとまる古文単語500PLUS (いづな書店) 改訂版 漢文句法マスターノート (数研出版) 改訂版 漢文重要語マスターノート(数研出版)
<p>目標・ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>古文や漢文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。</li> <li>作品に表れた人間・社会・自然などに対する思想や感情を読み取ることで物の見方、感じ方、考え方を広くし、人生を豊かにする態度を育てる。</li> </ul>	
<p>注意事項(学習方法・長期休業の課題など)</p> <p>学習方法</p> <p>古文</p> <p>授業前に指示された本文の品詞分解を行う。(※プリントなどを使用する場合もある。)</p> <p>現代語訳しておく。</p> <p>難読語の読み、重要単語の意味を単語帳・古語辞典で調べる。</p> <p>本文を声に出して読む。</p> <p>授業後は、作品の教科書に掲載されていない部分や関連した書籍を読んで理解を広げる。</p> <p>漢文</p> <p>授業前に指示された本文を書き下し文にする。(※プリントなどを使用する場合もある。)</p> <p>本文の重要漢字の読み、意味・重要句法の書き下し、訳し方を調べておく。</p> <p>また、書き下し・訓点の施し・口語訳をしておく。</p> <p>授業後は白文を訓読し、理解できているか確認する。</p> <p>※学年の状況に応じて単元が前後することがある。</p> <p>※9～10月に集中的に演習を行い、授業中の実践や成果物を評価するため、秋中間テストは行わないものとする。</p>	

評価について

項目	割合	授業時における項目
定期試験	70～80	定期試験4回
平常点	20～30	ノート・プリント提出等

年間授業計画表

	単元	目標
前期	古文 用言・助動詞 説話 物語 漢文 逸話 漢文句法の確認 中間テスト	古文 高1で学習した用言(動詞・形容詞・形容動詞)や助動詞などの文法事項を文章を読解しながら確認する。 説話や物語の展開を理解し、読み解く力をつける。 漢文 句法を確認し、文意を理解する。
	古文 助動詞・助詞 物語 日記 漢文 小説 漢文句法の確認 期末テスト	古文 古典文法の中でも特に助動詞と助詞について理解を深める。 作者のものの見方や考え方を捉え、作品に通底する思想を理解する。 漢文 句法を確認し、作品の背景に関する知識を確認し、文意を理解する。
後期	古文 敬語法 物語 評論 漢文 漢詩 思想 漢文句法の確認 冬中間テスト	古文 敬語について理解する。 今までに学習した古文の知識をふまえ、語句の意味を正しくとらえ、文脈に沿って読解する。 漢文 漢詩の特徴を知り、作者の心情を理解する。 長文読解の力を身につける。 古代中国の思想を理解する。
	古文 物語 漢文 思想 漢文句法・語彙の確認 学年末テスト	古文 長編展開の冒頭部における人間関係を把握する。 漢文 句法と重要語彙について理解する。 古代中国の思想を理解する。

履修学年	科目	選択必修	授業形態	単位数
高校2年	世界史B		一斉	4単位

教科書 詳説世界史 (山川出版)	副読本 ニューステージ世界史詳覧(浜島書店)
---------------------	---------------------------

目標・ねらい  
歴史を考察する基本的な方法を理解するとともに、歴史への関心を高め、歴史的な見方や考え方を身に付ける。

注意事項(学習方法・長期休業の課題など)

1 学習方法  
 (1)進度がはやく、各定期試験の内容が多くなるため、日頃の学習計画を立て、授業があった日には復習をしっかりと行うこと。  
 (2)基礎的事項を頻りに小テストで確認するため、日頃から準備をしておくこと。  
 (3)授業進度にあわせて、自ら世界史ノートを書いていくこと。

2 その他  
 (1)長期休業中は歴史に関連する史跡や資料館、博物館などに足を運ぶことが望ましい。また、旅行先の観光協会などを通じて歴史を学びとるなど、広い見聞を持つこと。

評価について

項目	割合	授業時における項目
定期試験	60	定期試験5回
平常点	40	プリント提出・小テスト・課題提出など

年間授業計画表

	単元	目標
前期	序章 先史の時代 第1章 オリентと地中海世界 第2章 アジア・アフリカの古代文明 第3章 内陸アジア世界、 東アジア世界の形成と発展  中間テスト	・人類の特性について理解する。 ・オリент諸国の政治的・社会的特色を理解する。 ・ギリシア・ローマが後世のヨーロッパ文明の発展の基礎を築いたことを理解する。 ・日本を含む東アジア世界の形成過程を把握する。
	第4章 イスラーム世界の形成と発展 第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展  期末テスト  第6章 内陸アジア世界、 東アジア世界の展開	・イスラーム文化、世界の形成と拡大の過程を把握する。 ・キリスト教とヨーロッパ世界の形成、変動の過程を把握する。
後期	第7章 アジア諸地域の繁栄 第8章 近世ヨーロッパ世界の形成  秋中間テスト  第9章 近世ヨーロッパ世界の展開  冬中間テスト	・アジアの多様な自然条件とそこに登場する民族の特徴を理解する。 ・アジア国家の発展と、ヨーロッパ諸国の進出による社会の変容について理解する。 ・16世紀から18世紀までのヨーロッパ世界の特質とアメリカ、アフリカとの関係を理解する。
	第10章 近代ヨーロッパ、アメリカ世界の成立 第11章 欧米における近代国民国家の発展  学年末テスト	・近代ヨーロッパにおける国民国家形成と産業社会の成立過程を理解する。

履修学年	科目	選択必修	授業形態	単位数
高校2年	日本史B		一斉	6単位

教科書 詳説日本史B (山川出版社)	副読本 最新日本史図表 (第一学習社) 時代と流れで覚える! 日本史B用語(文英堂)
-----------------------	--

目標・ねらい  
 ・歴史を考察する基本的な方法を理解するとともに、歴史への関心を高め、歴史的な見方や考え方を身につける。  
 ・次世代を担う市民(主権者)として、歴史に学び未来をつくる資質・能力を身につける。

注意事項(学習方法・長期休業の課題など)

1 学習方法  
 (1)進度がはやく、各定期試験の内容が多くなるため、日頃の学習計画を立て、授業があった日には復習をしっかりと行うこと。  
 (2)基礎的事項を頻繁に小テストで確認するため、日頃から準備をしておくこと。  
 (3)授業進度にあわせて、自ら問題集を解いていくこと。  
 (4)プリント学習となるので、授業で配布するプリントで授業内容を復習すること。

2 その他  
 (1)長期休業中は歴史に関連する史跡や資料館、博物館などに足を運ぶことが望ましい。また、旅行先の観光協会などを通じて歴史を学びとるなど、広い見聞を持つこと。

評価について

項目	割合	授業時における項目
定期試験	60	定期試験5回
平常点	40	プリント提出・小テスト・課題提出など

年間授業計画表

	単元	目標
前期	第1章 日本文化のあけぼの 第2章 律令国家の形成 第3章 貴族政治と国風文化  中間テスト	・自然環境や大陸文化の影響による生活の変化、原始の社会について理解する。 ・日本における国家形成と律令体制確立の過程、東アジア世界との交流について理解する。 ・東アジア世界との関係の変化、土地制度や武士の台頭、中世社会の萌芽について理解する。
	第4章 中世社会の成立  期末テスト 第5章 武家社会の成長	・武士の土地支配と公武関係に着目し、武家政権の形成過程を理解する。 ・日本の諸地域の動向、東アジア世界との交流、庶民の台頭に着目し、産業経済の発展や下剋上など中世社会の多様な展開を理解する。 ・ヨーロッパ世界との接触とその影響、鎖国などその後の対外関係、支配体制と身分制度に着目して、織豊政権、幕藩体制の特質について理解する。
後期	第6章 幕藩体制の確立  秋中間テスト  第7章 幕藩体制の展開 第8章 幕藩体制の動揺  冬中間テスト	・幕藩体制の動揺と近代化の基盤の形成を理解する。
	第9章 近代国家の成立    学年末テスト	・開国、幕府の滅亡と新政府の成立について理解する。 ・明治時代の近代日本の歩みについて、国際環境と関連付けて理解する。

履修学年	科目	選択必修	授業形態	単位数
高校2年	地理A		一斉	2単位

教科書 基本地理A(二宮書店) 高等地図帳(二宮書店)	副読本
-----------------------------------	-----

目標・ねらい  
現代世界の地理的事象を自然環境や産業、都市などの項目別に追求して各地の地域性を明らかにする。また、その地域的差異を地形、気候、文化や歴史など多面的な視点で捉え、地球規模で起こっている諸課題解決への積極的な姿勢を養う。

注意事項(学習方法・長期休業の課題など)  
○学習方法  
(1)世界で起こっている事象、諸問題について考察するため、日頃から多くのかつ信頼のおける情報に触れようとする姿勢を意識すること。  
(2)授業では、黒板を写すだけでなく話の中で必要事項を判断し、プリントに記入すること。  
(3)基礎的な知識の定着は小テストの実施ではかるため、そのための対策を必ず行うこと。  
(4)(3)のためにも、授業の進度に合わせてワークの問題を解くこと。  
(5)グループ学習やプレゼンテーション形式での発表を行うことがある。探究心を持ち、積極的な態度で臨むこと。

評価について

項目	割合	授業時における項目
定期試験	60	定期試験3回
平常点	40	プリント提出・小テスト・課題提出など

年間授業計画表

	単元	目標
前期	第1章 球面上の世界 1 地球儀と地図 2 国と国の結びつき 3 地図で見る世界のつながり * 授業内テスト	・球体としての地球と平面としての地球の違いをそれぞれとらえ、三次元と二次元の世界を知る手段としての地球儀、使用目的に応じた地図の特色を理解する。 ・広がる世界と狭くなる地球ということが、交通の発達や情報伝達の迅速化によってもたらされていることを理解する。 ・地図が、見えない現象を視覚的に表現する有効な方法であることを理解する。
	第2章 自然・生活・文化と私たちの暮らし 1 地形と私たちの暮らし 2 気候と私たちの暮らし * 高大接続特別授業 「地図とは何か」 期末テスト 3 人びとをとりまく経済と文化	・生活行動や消費行動の多様性を地域間比較することで、日本の特色をとらえる。 ・世界全体から大規模な地形気候をみると、そこに類似性や規則性が見えてくることを理解する。 ・高大接続特別授業 特別講義を受け、地図の作成者になることで、地図が持つ役割や影響力を考察するとともに、あらゆる社会の構成要素に対する批判的思考を養う。 ・民族とは何かということ整理し、民族紛争の背景には宗教や言語などが深く関わり、複雑な地域性を形成していることを理解する。
後期	4 世界各地の生活・文化 1. アジア 2. アフリカ 3. ヨーロッパ 4. アングロアメリカ 5. ラテンアメリカ 6. オセアニア 冬中間テスト	・各州が持つ、世界の平和の構築と維持のためのポテンシャルとは何かを考察しながら、各州の特色を理解する。
	第4章 地球的課題 1 人口問題 2 食料問題 4 資源・エネルギー問題 5 環境問題 学年末テスト	・人口、食料、資源・エネルギー、地球環境問題など人類共通の課題を考察する。

履修学年	科目	選択必修	授業形態	単位数
高校2年	数学B		一斉	2単位

教科書 数学B (数研出版)	副読本 3TRIAL 数学Ⅱ+B (数研出版)
-------------------	----------------------------

目標・ねらい  
 ・数列についての基本的な事柄と様々な数列の型を学ぶ。  
 ・平面上のベクトルの概念を学ぶとともに、計算方法や意味を、代数的・幾何的に理解する。  
 ・空間ベクトルの概念を理解し、空間ベクトルが有効に応用できる。

注意事項(学習方法・長期休業の課題など)

○科目説明  
 (1)「数学Ⅰ」「数学A」の単位未修得者は、本科目を選択できない。  
 (2)やむを得ず、「数学Ⅱ」とあわせて選択できない場合は相談すること。  
 (3)数学Ⅱとの学習効果を図るため、「第3章 数列」からはじめる。

○定期試験について  
 (1)授業内容を中心に出题する。入試レベルの問題も出题する。  
 (2)試験当日に、問題集を提出すること。

○日々の学習について  
 (1)予習として、教科書の例題を解くと良い。  
 (2)復習として、その日のうちに問題集を解いてまる付けと間違い直しをする。  
 (3)考え方の基盤を確立するだけでなく、応用レベルの技能の習熟を得ることを目的とする。  
 (4)長期休業中には、大学入学共通テストレベルの問題を含んだプリントが配布される。  
 (5)各教室に置いてある「数学検定の完全対策問題集(日本実業出版)」を自由に活用する。

評価について

項目	割合	授業時における項目
定期試験	60	定期テスト 年5回
平常点	40	プリント・問題集・テスト直し等の提出物

年間授業計画表

	単元	目標
前期	第3章 数列 § 数列とその和 等差数列 等比数列 数列の和  中間テスト	・数列の基本的概念について学ぶ。 ・階差数列を学ぶ。 ・規則性を見つけ、一般項を求める。 ・数列の和を記号で表す。
	§ 数学的帰納法 漸化式 数学的帰納法 第1章 平面上のベクトル § 平面上のベクトルとその演算 ベクトルの成分 ベクトルの内積  期末テスト  § ベクトルと平面図形 演算	・数列の項の間に成立する関係式について学ぶ。 ・数学的帰納法を理解し、活用できる。  ・ベクトルの概念を理解し、ベクトルの計算に習熟する。
後期	成分/内積  秋中間テスト	・成分で表せることを理解する。 ・内積を定義し、意味と計算方法を理解する。
	位置ベクトル ベクトル方程式  第2章 空間のベクトル  冬中間テスト	・外分点、内分点を求める。 ・位置ベクトルは、問題解決の有効な手段の1つだと認識する。  ・空間内での点の位置を捉える。
	空間のベクトル ベクトルの成分 ベクトルの内積 位置ベクトル  学年末テスト	・成分で表せることを理解する。 ・内積を定義し、意味と計算方法を理解する。 ・空間内で直線、点の存在が表せることを理解する。

履修学年	科目	選択必修	授業形態	単位数
高校2年	数学Ⅱ		一斉	4単位

教科書 新編数学Ⅱ (数研出版)	副読本 3TRIAL 数学Ⅱ+B (数研出版)
---------------------	----------------------------

目標・ねらい  
・各章の考えについて理解し、基礎的な知識と技能を修得し、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する。

注意事項(学習方法・長期休業の課題など)

○科目説明  
(1) 数学を「受験科目にする生徒」を対象とした授業を行う。  
(2) 「数学Ⅰ」「数学A」の単位未修得者は、本科目を選択できない。  
(3) やむを得ず、「数学B」とあわせて選択できない場合は相談すること。

○定期試験について  
(1) 授業内容を中心に出题する。入試レベルの問題も出题する。  
(2) 試験当日に、問題集を提出すること。

○日々の学習について  
(1) 予習として、教科書の例題を解くと良い。  
(2) 復習として、その日のうちに問題集を解いてまる付けと間違い直しをする。  
(3) 考え方の基盤を確立するだけでなく、応用レベルの技能の習熟を得ることを目的とする。  
(4) 長期休業中には、大学入学共通テストレベルの問題を含んだプリントが配布される。  
(5) 各教室に置いてある「数学検定の完全対策問題集(日本実業出版)」を自由に活用する。  
(6) 各自で「振り返りノート」(数Ⅱ+数Bで1冊)を準備し、模試後に提出する。

評価について

項目	割合	授業時における項目
定期試験	60	定期テスト 年5回
平常点	40	プリント・問題集・テスト直し等の提出物

年間授業計画表

	単元	目標
前期	第1章 式と証明 式と計算 等式・不等式の証明	・整式の乗法・除法、分数式の計算を理解し、恒等式や証明等に活用できる。 ・等式や不等式が成り立つことを証明できる。
	第2章 複素数と方程式 複素数と2次方程式の解	・虚数という新しい概念を理解し、基本的な計算ができる。
	中間テスト	
	高次方程式	・高次方程式が解ける。
後期	第3章 図形と方程式 点と直線の方程式 円の方程式	・座標を用いて直線図形、および円などの平面図形の性質や関係を調べる解析幾何的な方法を理解する。
	期末テスト	
	軌跡と領域	・軌跡の定義を理解し、与えられた条件を満たす点の軌跡を求めることができる。 ・不等式の表す領域を、座標平面上に図示することができる。
	第4章 三角関数 三角関数 加法定理	・弧度法の定義を理解し、度数法と弧度法の換算ができる。 ・三角関数および三角関数の加法定理について理解し、それらを事象の考察に活用できる。
	秋中間テスト	
	第5章 指数関数と対数関数 指数関数 対数関数 第6章 微分法と積分法 微分係数と導関数	・累乗の意味と指数法則の理解を深める。指数・対数の関係を理解する。 ・微分の定義・概念を理解する。 ・増減表を作り、グラフを描く。 ・接線・関数値の増減を理解する。
冬中間テスト		
	積分法 面積	・積分の定義・概念を理解する。 ・不定積分・定積分を理解する。 ・面積の計算ができる。
	学年末テスト	

履修学年	科目	選択必修	授業形態	単位数
高校2年	数学総合		一斉	2単位

教科書 新編数学Ⅱ (数研出版)	副読本 数学Ⅱ Study-upノート (数研出版)
---------------------	-------------------------------

目標・ねらい  
 ・平面上にある点、直線、円が式で表せることを理解し、その式を活用してオリジナルの絵をかく。  
 ・微分で瞬間の速さや接線の傾きが求まることを理解し、その逆の演算があることを学ぶ。  
 ・微分積分の基礎的な知識と技能を修得する。

注意事項(学習方法・長期休業の課題など)

- 科目説明  
 (1) 数学を「受験科目にしない生徒」を対象とした授業を行う。  
 (2) 「第3章 図形と方程式」と、「第6章 微分積分」のみを学習する。
- 定期試験について  
 (1) 授業内容を中心に出题する。  
 (2) 試験当日に、問題集を提出すること。
- 日々の学習について  
 (1) 予習として、教科書の例題を読むと良い。  
 (2) 復習として、その日のうちに問題集を解いて まる付けと間違い直しをする。  
 (3) 各教室に置いてある「数学検定の完全対策問題集(日本実業出版)」を自由に活用する。

評価について

項目	割合	授業時における項目
定期試験	60	定期テスト 年5回
平常点	40	プリント・問題集・テスト直し等の提出物

年間授業計画表

	単元	目標
前期	第3章 図形と方程式  直線上の点 平面上の点 直線の方程式 2直線の関係  中間テスト	・2点間の距離、内分点・外分点の座標を学ぶ。 ・直線の方程式は、 $y=ax+b$ または $ax+by+c=0$ であることを学ぶ。 ・直線の方程式を理解し、平行や垂直の位置関係を考える。
	円の方程式 円と直線  期末テスト  不等式の表す領域	・円の方程式から、中心と半径を求める。 ・平面上にある点、直線、円が式で表せることを理解する。  ・2つの不等式をともに満たす領域について学ぶ。 ・座標平面上に円を自在にかけるようになり、円と直線の式とで作り上げる領域によって絵を描く活動をする。
後期	第6章 微分と積分  微分係数 導関数とその計算 接線の方程式  秋中間テスト	・関数を表す記号を学び、平均変化率を定義する。 ・平均変化率の考え方を応用させ、「高齢者にやさしい階段」をテーマに探究学習を行う。 ・接線の方程式を求める。
	関数の増減と極大・極小 関数の増減・グラフの応用  冬中間テスト	・増減表を作り、グラフを描く。
	不定積分 定積分 定積分と面積  学年末テスト	・微分の逆演算について学ぶ。 ・不定積分と定積分の違いを理解する。 ・定積分を利用して、いろいろな図形の面積を求める。 ・身の回りの物の平面図を座標平面上に写し取り、直線や放物線の式を活用してその面積を求める活動をする。

履修学年	科目	必修	授業形態	単位数
高校2年	生物基礎α 科学と人間生活Bα		一斉	2単位

教科書 改訂 生物基礎(東京書籍) 改訂 科学と人間生活(東京書籍)	副読本 リードLightノート生物基礎(数研出版)
--	------------------------------

<p>目標・ねらい</p> <p>1 現代生物学の基礎となる代謝、遺伝子、恒常性、免疫、生態系といった基礎的な内容を、最先端の生物学を織り交ぜながら学習する。</p> <p>2 生物の多様性の中から法則を導き、その中の法則に基づきながら共通性を見いだしていく。</p> <p>3 観察・実験を通して自然を科学的に探求する能力を育てる。さらに、実験に対する目的、仮説、準備、方法、結果、考察、発展という手順に従ったレポートを作成する能力を育てる。</p> <p>4 命の営みを学習することで生命に対する畏敬の念を育て、生命を尊重する精神を養う。</p>
---

<p>注意事項(学習方法・長期休業の課題など)</p> <p>1 問題演習のためのプリントを行い、実力を養う。</p> <p>2 定期テスト範囲の問題集を提出する。</p> <p>3 観察や実験を行い、生物現象への理解を深め、レポートを作成する能力を養う。</p> <p>4 長期休業中は、課題に取り組む。</p> <p>※高1で化学分野を学習済みなので、高2では生物分野を中心に学習を進める。</p>
---

評価について		
項目	割合	授業時における項目
定期試験	60	中間テスト・期末テスト
平常点	40	提出物(レポート・問題集・プリントなど)小テスト

年間授業計画表

	単元	目標
前期	第1編 生物の特徴 1章 生物の多様性と共通性 2章 生命活動とエネルギー  中間テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物の多様性と共通性、エネルギーと代謝の関係性とエネルギーの通貨としてはたらくATPIについて理解について理解する</li> <li>光合成において、エネルギーと物質の観点から理解を深める</li> </ul>
	第2編 遺伝子とそのはたらき 1章 生物と遺伝子 2章 遺伝情報の分配 3章 遺伝情報とタンパク質の合成  期末テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>遺伝子の本体としてのDNAについて理解する</li> <li>体細胞分裂に伴うDNAの複製と分配、遺伝情報がタンパク質の合成という形で現れる過程を理解する</li> </ul>
後期	第3編 生物の体内環境の維持 1章 体内環境 2章 体内環境の調節  秋中間テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>体液の循環や調節に関わる機関のはたらきと体液中の物質のはたらきについて理解する</li> <li>自律神経とホルモンによる体内環境の調節のしくみを理解する</li> </ul>
	3章 免疫 冬中間テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>異物の体内への侵入を防いだり、侵入した異物を排除するしくみを理解する</li> <li>自己と非自己の区別が物質レベルでなされていることに気づく</li> </ul>
	第4編 生物の多様性と生態系 1章 植生の多様性と分布 2章 気候とバイオーム 3章 生態系とその保全  学年末テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>生態系の成り立ちと植生の果たす役割、植生の遷移が生じるメカニズムを理解する</li> <li>気候条件の違いにもとづいて、さまざまなバイオームが成立する過程を知り、世界や日本におけるバイオームの分布について理解する</li> <li>生態系におけるエネルギーの流れと物質の循環のしくみについて理解し、生態系の保全について考える</li> </ul>

履修学年	科目	選択必修 (前期のみ)	授業形態	単位数
高校2年	生物基礎β 科学と人間生活Bβ		一斉	2単位

教科書 改訂 生物基礎(東京書籍) 改訂 科学と人間生活(東京書籍)	副読本 セミナー「生物基礎＋生物」(第一学習社) サイエンスビュー生物総合資料(実教出版)
--	---

<p>目標・ねらい</p> <p>1 現代生物学の基礎となる代謝、遺伝子、恒常性、免疫、生態系といった基礎的な内容を、最先端の生物学を織り交ぜながら学習する。</p> <p>2 生物の多様性の中から法則を導き、その中の法則に基づきながら共通性を見いだしていく。</p> <p>3 観察・実験を通して自然を科学的に探求する能力を育てる。さらに、実験に対する目的、仮説、準備、方法、結果、考察、発展という手順に従ったレポートを作成する能力を育てる。</p> <p>4 命の営みを学習することで生命に対する畏敬の念を育て、生命を尊重する精神を養う。</p>
---

<p>注意事項(学習方法・長期休業の課題など)</p> <p>1 問題演習のためのプリントを行い、実力を養う。</p> <p>2 定期テスト範囲の問題集を提出する。</p> <p>3 観察や実験を行い、生物現象への理解を深め、レポートを作成する能力を養う。</p> <p>4 長期休業中は、課題に取り組む。</p> <p>※高1で化学分野を学習済みなので、高2では生物分野を中心に学習を進める。</p>
---

評価について

項目	割合	授業時における項目
定期試験	60	中間テスト・期末テスト
平常点	40	提出物(レポート・問題集・プリントなど)小テスト

年間授業計画表

	単元	目標
前期	<p>第1編 生物の特徴</p> <p>1章 生物の多様性と共通性</p> <p>2章 生命活動とエネルギー</p> <p>第2編 遺伝子とそのはたらき</p> <p>1章 生物と遺伝子</p> <p>2章 遺伝情報の分配</p> <p>3章 遺伝情報とタンパク質の合成</p> <p>中間テスト</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物の特徴の1つに挙げられる、多様性と共通性について理解する。</li> <li>エネルギーと代謝の関係性とエネルギーの通貨としてはたらくATPについて理解する。</li> <li>光合成において有機物であるデンプンが合成されることを理解する。</li> <li>遺伝子の本体としてのDNAについて理解する。</li> <li>体細胞分裂に伴うDNAの複製と分配について理解する。</li> <li>遺伝情報がタンパク質の合成という形で現れる過程を理解する。</li> </ul>
	<p>第3編 生物の体内環境の維持</p> <p>1章 体内環境</p> <p>2章 体内環境の調節</p> <p>3章 免疫</p> <p>第4編 生物の多様性と生態系</p> <p>1章 植生の多様性と分布</p> <p>2章 気候とバイオーム</p> <p>3章 生態系とその保全</p> <p>期末テスト</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体液の循環や調節に関わる心臓・腎臓・肝臓などはたらきについて理解する。</li> <li>自律神経とホルモンによる体内環境の調節のしくみを理解する。</li> <li>異物の体内への侵入を防いだり、侵入した異物を排除するしくみを理解する。</li> <li>生態系の成り立ちと植生の果たす役割を理解し、植生の遷移が生じるメカニズムを理解する。</li> <li>気候条件の違いにもとづいて、さまざまなバイオームが成立する過程を知り、世界や日本におけるバイオームの分布について理解する。</li> <li>生態系におけるエネルギーの流れと物質の循環のしくみについて理解し、生態系の保全について考える。</li> </ul>
後期		

履修学年	科目	選択必修 (後期のみ)	授業形態	単位数
高校2年	生物研究		一斉	2単位

教科書 改訂 生物 (東京書籍)	副読本 セミナー「生物基礎＋生物」(第一学習社) サイエンスビュー生物総合資料(実教出版)
---------------------	---

<p>目標・ねらい</p> <p>1 「生物基礎」との関連を図りながら、生物や生物現象を更に広範囲に取り扱い、生物学的に探究する能力と態度を身に付けさせる。</p> <p>2 生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深めさせ、科学的な自然観を育てる。</p> <p>3 観察・実験を通して自然を科学的に探究する能力を育てる。さらに、実験に対する目的、仮説、準備、方法、結果、考察、発展という手順に従ったレポートを作成する能力を育てる。</p> <p>4 命の営みを学習することで生命に対する畏敬の念を育て、生命を尊重する精神を養う。</p>
--

<p>注意事項(学習方法・長期休業の課題など)</p> <p>1 問題演習のためのプリントを行い、実力を養う。</p> <p>2 定期テスト範囲のノートと問題集を提出する。</p> <p>3 観察や実験を行い、生物現象への理解を深め、レポートを作成する能力を養う。</p> <p>4 長期休業中は、課題に取り組む。</p>
---

評価について

項目	割合	授業時における項目
定期試験	60	中間テスト・期末テスト
平常点	40	提出物(レポート・問題集・プリントなど)・小テスト

年間授業計画表

	単元	目標
前期		
後期	<p>第1編 生命現象と物質</p> <p>1章 生体物質と細胞</p> <p>2章 生命現象を支えるタンパク質</p> <p>3章 代謝とエネルギー</p> <p>秋中間テスト</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物の基礎である細胞の構造やはたらきについて理解する。</li> <li>物質輸送や情報伝達、細胞構造の維持などの生命現象を支えるタンパク質の構造やはたらきについて理解する。</li> <li>有機物分解によって得られるATPのエネルギーの変化と利用のしくみについて理解する。</li> </ul>
	<p>第2編 遺伝子のはたらき</p> <p>1章 遺伝情報の発現</p> <p>2章 遺伝子の発現調節</p> <p>3章 バイオテクノロジー</p> <p>冬中間テスト</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DNAの複製や遺伝子発現のしくみ、およびDNAの塩基配列変化に伴う突然変異について理解する。</li> <li>遺伝子発現のしくみと細胞分化との関わりについて理解する。</li> <li>バイオテクノロジーの技術の数々と応用面について理解する。</li> </ul>
	<p>第3編 生殖と発生</p> <p>1章 生物の生殖と配偶子の形成</p> <p>2章 動物の発生</p> <p>3章 動物の発生のしくみ</p> <p>学年末テスト</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物が同じ種を残すしくみを、細胞、染色体、遺伝子などのさまざまな視点から理解する。</li> <li>動物の発生過程に伴う胚の変化と遺伝子発現について理解する。</li> </ul>

履修学年	科目	選択必修 (前期のみ)	授業形態	単位数
高校2年	物理基礎 科学と人間生活P		一斉	2単位

教科書 改訂版 新編物理基礎 (数研出版)	副読本 セミナー「物理基礎＋物理」(第一学習社)
--------------------------	-----------------------------

目標・ねらい  
日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識を持って観察、実験を行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

注意事項(学習方法・長期休業の課題など)

- 1 授業プリントの作業で内容把握を行う。
- 2 授業中に小テストを行い、基礎力の向上を図る。
- 3 問題集の提出を行い、確認する。
- 4 問題演習のためのプリントを行い、実力を養う。
- 5 長期休業中にも問題集等の課題に取り組む。

評価について

項目	割合	授業時における項目
定期試験	60	中間試験、期末試験
平常点	40	①小テスト
		②問題集プリントの提出
		③課題・実験レポートなどの提出

年間授業計画表

	単元	目標
前期	第1編 運動とエネルギー 第1章 運動の表し方 1速度 2加速度 3落体の運動 第2章 運動の法則 1力とのはたらき 2力のつりあい 3運動の法則 4摩擦を受ける運動 5液体や気体から受ける力 第3章 仕事と力学的エネルギー 1仕事 中間テスト 2運動エネルギー 3位置エネルギー 4力学的エネルギーの保存	<ul style="list-style-type: none"> <li>・等速直線運動について、x-t図とv-t図の特徴と、そのグラフがもたらす情報を理解する。</li> <li>・等加速度直線運動の3つの公式を理解させ、その具体的な運用を理解する。</li> <li>・力の定義を理解する。力の具体例として重力、垂直抗力、摩擦力、弾性力を理解する。</li> <li>・ニュートンの運動の3法則を理解させ、運動方程式の立て方を理解する。</li> <li>・摩擦力の大きさが摩擦係数と垂直抗力の積で表されることを理解する。</li> <li>・浮力、アルキメデスの原理を理解する。</li> <li>・仕事の定義を正確に把握し理解する。</li> <li>・運動エネルギー、重力による位置エネルギー、弾性エネルギーの式を導き、理解する。</li> </ul>
	第2編 熱 第1章 熱とエネルギー 1熱と熱量 2熱と物質の状態 3熱と仕事 4不可逆変化と熱機関 第3編 波 第1章 波の性質 1波と媒質の運動 2波の伝わり方 第2章 音 1音の性質 2発音対の振動と共振・共鳴 第4編 電気 第1章 物質と電気抵抗 1電気の性質 2電流と電気抵抗 3電気とエネルギー 期末テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熱容量や比熱の定義を理解させた上で、温度を<math>\Delta T</math>変化させるのに必要な熱量を、熱容量や比熱を用いて表すことができるように理解する。</li> <li>・熱力学の第一法則を理解する。</li> <li>・ウェーブマシンを用いて、媒質中を振動が伝わっていく現象が波動であることを理解する。</li> <li>・波の重ね合わせの原理、定常波を理解する。</li> <li>・音波の性質、音の3要素を実験を通して理解する。</li> <li>・弦の振動、管の振動を実験を通して理解する。</li> <li>・帯電のしくみを電子の移動によって理解する。</li> <li>・電流がする仕事、仕事率、電力について理解する。</li> </ul>
後期		

履修学年	科目	選択必修 (後期のみ)	授業形態	単位数
高校2年	物理研究		一斉	2単位

教科書 改訂版物理(数研出版)	副読本 セミナー「物理基礎+物理」(第一学習社)
--------------------	-----------------------------

目標・ねらい  
物理的な事象・現象についての観察、実験などを行い、自然に関する関心や探究心を高め、物理的に探究する能力と態度を身につける。さらに、物理の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を身につける。

注意事項(学習方法・長期休業の課題など)

- 1 復習を重視し、問題演習を欠かさないこと。
- 2 授業中の小テストを重視し、基礎力の向上を図る。
- 3 多くの生徒実験、演示実験を通して、物理現象の理解を深める。
- 4 長期休業中は、問題集(セミナー物理)の問題を宿題とする。
- 5 長期休業中には、実験実習を中心とした補習を実施する。

評価について

項目	割合	授業時における項目
定期試験	60	中間テスト・期末テスト
平常点	40	①小テスト
		②問題集プリントの提出
		③課題・実験レポートなどの提出

年間授業計画表

	単元	目標
前期		
後期	第1編 力と運動 第1章 平面内の運動 1.平面運動の速度・加速度 2.落体の運動 第2章 剛体 1.剛体にはたらく力のつりあい 2.剛体にはたらく力の合力と重心 第3章 運動量の保存 1.運動量と力積 2.運動量保存則 秋中間テスト	・平面上の運動について、速度や加速度のベクトルを用いた扱いを十分に理解し、慣れる。 ・放物運動における速度ベクトルを水平成分と鉛直成分とに分解し、定量的に理解する。 ・剛体にはたらく力の合力をさまざまな場合に応じて求められるようにする。 ・「物体の運動量はその物体が外部から力積を受けると変化する」こと、および、「そのときの運動量の変化量は、受けた力積の量に等しい」ことをしっかりと理解する。
	3.反発係数 第4章 円運動と万有引力 1.等速円運動 2.慣性力 3.単振動 冬中間テスト	・反発係数は衝突直後と直前における2物体の相対速度の大きさの比で表されることを理解する。 ・円運動における速さ、角速度、回転数、周期、加速度などの量の定義、およびこれらの間に成り立つ関係を学習する。 ・ある物体を異なる立場(場所)で観測するときには、異なった運動が観測される場合があることを理解する。 ・物体にはたらく力が、常に振動の中心へ向かって引き戻す向きであり、その大きさが振動の中心からの距離に比例するとき、物体の運動は単振動であることを理解する。
	4.万有引力 第2編 熱と気体 第1章 気体のエネルギーと状態変化 1.気体の法則 2.気体分子の運動 3.気体の状態変化 第3編 波 第1章 波の伝わり方 1.正弦波 2.波の伝わり方 学年末テスト	・万有引力の公式が得られる過程を理解する。 ・重力と万有引力との関係を理解する。 ・万有引力による位置エネルギーを理解する。 ・ボイル・シャルルの法則、理想気体の状態方程式が得られることを示す。 ・気体分子の運動を力学的に扱って気体の圧力を表す式を導く。 ・熱力学第一法則の式を用いて定積変化、定圧変化、等温変化、断熱変化を理解する。 ・原点での単振動の式をもとにして正弦波の一般式を理解する。 ・ホイヘンスの原理から反射・屈折の法則を導くことができることを理解する。

履修学年	科目	選択必修	授業形態	単位数
高校2年	化学研究		一斉	2単位

教科書 改訂 高等学校 化学 (第一学習社)	副読本 九訂版 スクエア最新図説化学 (第一学習社) セミナー化学基礎+化学 (第一学習社)
---------------------------	--

目標・ねらい ・化学的な事物・現象についての観察、実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、化学的に探究する能力と態度を育てる。 ・基本的事項の理解を深め、物理化学的な概念や原理・法則を理解させ、基本的な概念や原理・法則を学習する。 ・日常生活に用いられる化学物質について理解を深め、科学的な自然観を育成する。
---

注意事項(学習方法・長期休業の課題など)  1 授業プリントの作業で内容把握を行う。 2 授業中に小テストを行い、基礎力の向上を図る。 3 問題演習のためのプリントを行い、実力を養う。 4 多くの生徒実験、演示実験を通して、化学現象の理解を深める。 5 授業・補習で行った実験についてレポートを書く。 6 長期休暇等を利用し、課題レポート等と問題集の指定範囲を解いて提出する。
---

評価について

項目	割合	授業時における項目
テスト	60	定期テスト
提出物等	40	提出物(レポート・問題集・ノート・プリントなど)
		小テスト

年間授業計画表

	単元	目標
前期	I 物質の変化 2酸化還元反応  中間テスト	・酸化還元反応を電子に着目して理解する。 ・酸化還元反応の化学反応式のつくり方を理解する。 ・金属によってイオン化傾向の大きさが異なるため、金属によって反応性が異なることを理解する。
	3電池  期末テスト	・酸化還元反応を利用して電流生み出す化学電池のしくみを理解する。
後期	4電気分解  II 物質の状態 1化学結合と結晶  秋中間テスト	・電気分解の原理を理解する。 ・水溶液の電気分解における陽極・陰極での化学反応式で表すことができる。  ・物質の構成粒子・化学結合・性質について理解する。 ・結晶格子の中の単位格子、配位数、単位格子の中に含まれる粒子の数を理解する。
	III無機物質 1非金属元素  冬中間テスト	・無機物質の性質や反応を周期表に関連づけて理解する。 ・無機物質を日常生活および化学工業に関連づけて理解する。 ・さまざまな気体の発生方法と反応様式を理解する。
	2典型金属元素 3遷移元素  学年末テスト	・両性元素の反応を理解する。 ・金属イオンと陰イオンとの沈殿反応を利用して、金属イオンの系統分離ができるようにする。

履修学年	科目	選択必修	授業形態	単位数
高校2年	音楽Ⅱ		一斉	2単位

教科書 ON!2 (音楽之友社)	副読本 高校生のための音楽研究ノート
<p>目標・ねらい 音楽の諸活動を通して、個性豊かな表現の能力を伸ばし、鑑賞の能力を高めるとともに、音楽に対する豊かな感性と音楽を愛好する心情を養う。</p>	
<p>注意事項(学習方法・長期休業の課題など)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の進度により課題の出る場合がある。</li> <li>・各種コンクール等への自主参加は自由。</li> </ul>	

評価について

項目	割合	授業時における項目
関心・意欲・態度・鑑賞の能力	40	期末テスト・提出物・平常点
表現の工夫や技能	60	実技テスト・パフォーマンス・課題

年間授業計画表

	単元	目標
前期	世界の歌 日本の歌 楽典(調性・音階・関係調) アンサンブル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱力の向上と発声の充実を図る。</li> <li>・音楽理論を理解し、演奏に生かす。</li> <li>・リズムと音色の調和を工夫する。</li> </ul>
	芸術歌曲 楽典(調性・音階・関係調) アンサンブル 期末テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原詩を十分に味わわせ、言葉や、音楽と文学の関わりに関心を持つ。</li> <li>・音楽理論を理解し、演奏に生かす。</li> <li>・演奏法の習熟と視奏力の向上を図る。</li> </ul>
	劇音楽 楽典(コード) アンサンブル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・劇と音楽の関わりについて理解する。</li> <li>・音楽理論を理解し、コードで伴奏をできるようにする。</li> <li>・楽曲の構成や曲想の把握と個性豊かな表現の工夫をする。</li> </ul>
	日本の歌 世界の歌 アンサンブル 学年末テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の内容や曲想を把握し、表現の充実を図る。</li> <li>・フレージングや声部のバランス等、アンサンブルにおける全体の調和の工夫をする。</li> </ul>

履修学年	科目	選択必修	授業形態	単位数
高校2年	美術Ⅱ		一斉	2単位

教科書 高校生の美術 2 (日本文教出版)	副読本 なし
<p>目標・ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美術の創造活動を通して、美的体験を豊かにし創造的かつ個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばす。</li> <li>・創造的探究に取り組み、創造的な思考力を高めるとともに自己及び他者理解を深める。</li> <li>・美術を生涯にわたり愛好する心情を育て、美術文化への理解を深めながら、豊かな情操を養う。</li> </ul>	
<p>注意事項(学習方法・長期休業の課題など)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業時には、制服が汚れないように十分注意し、タブリエや、エプロン、スモックなどを着用する。</li> <li>・筆記用具、教科書、絵の具バックを持参する。</li> <li>・課題によっては、必要な画材を実費にて事前購入し用意する場合がある。</li> <li>・各種コンクールへの参加は自由。</li> <li>・授業進度や、選択者の希望進路によって、課題内容の変更がある。</li> </ul> <p>長期休業課題 作品調べレポート、美術館レポート、作品制作、資料・材料集めなどのなかから、学習内容に合わせて休み前の授業内にて指示。</p> <p>事前アンケートによる課題リクエスト デッサン</p>	

評価について

項目	割合	授業時における項目
美術への関心・意欲・態度	20	提出物・平常点
発想や構想の能力	30	提出物(作品・計画シート)
創造的な技能	30	提出物(作品・振り返りシート)
鑑賞の能力	20	提出物(レポート)

年間授業計画表

	単元	目標
前期	デザイン・立体構成 素材研究「紙」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や用途に応じて紙の特性を生かし、主体的に主題を生成する。</li> <li>・主題を表す方法を創意工夫し、手順や計画を各自で考え、見通しを持った制作を行う</li> </ul>
	木炭デッサン 静物画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象を深く観察する力と、質感を捉え描写する力を磨く。</li> <li>・用具の特性や効果を生かし、対象の特徴や色彩などの表現を創意工夫して追求する。</li> </ul>
後期	鑑賞 日本美術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本美術作品の特色ある表現方法や、伝統的に引き継がれてきた日本の美意識を理解する。</li> </ul>
	工芸 屏風絵・水墨画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞で学んだことを、自作への表現に生かす。</li> <li>・支持体や画材の特性を生かした作品づくりを楽しむ。</li> </ul>
後期	鑑賞 美術史・デザイン史・現代アート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術形式や主義を理解し、その美しさや魅力を感じ取る。</li> </ul>
	デザイン・映像 レディ・メイド作品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の問題を自分なりの視点でとらえ、他者へ問題提起、または解決法を提案をする。</li> <li>・映像作品の特性を理解し、効果的な展開やアングルなどの構成を考える。</li> <li>・多くの人に問いかけを投げかけるアート表現の在り方や可能性を模索する。</li> <li>・視点を変化し、既存のものに新たな価値を見出す。</li> </ul>
	自由制作 構想画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主題に沿ったイメージを創造的に表す。</li> </ul>

履修学年	科目	選択必修	授業形態	単位数
高校2年	書道Ⅱ		一斉	2単位

教科書 書道Ⅱ (光村図書)	副読本 なし
<p>目標・ねらい 書道芸術の広い分野から沢山のことを学び、古今にわたる文化の推移に関心を持つとともに、自己の感性につなげる。</p>	
<p>注意事項(学習方法・長期休業の課題など)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的に宿題は出さない。</li> <li>・作品制作が期限に間に合わない場合は、放課後に行う。</li> <li>・定期テストは行わない。必要に応じて、授業の中で小テストを行う。</li> </ul>	

評価について

項目	割合	授業時における項目
技能・表現	80	作品
知識・理解	10	小テスト
鑑賞	10	レポート(書道展)

年間授業計画表

	単元	目標
前期	漢字かな交じり書の学習	・自分で選んだ詩句を表現する。
	篆書の学習  行書の学習 「蘭亭序」「風信帖」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・篆書という書体に関心を持ち、その成立、特徴を理解する。</li> <li>・篆書特有の用筆、点画の組み立てを理解する。</li> <li>・それぞれの表現技法を学び、身につける。</li> <li>・行書(草書)を学ぶ。</li> <li>・作品・時代背景を踏まえた知的側面から、理解する。</li> </ul>
後期	隷書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隷書という書体に興味を持ち、その成立、特徴を理解する。</li> <li>・特有の用筆、点画の組み立ての基本を身につける。</li> </ul>
	創作 書初め大会に向けて、半切作品を制作  創作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書道Ⅰで学んだ楷書・行書に草書・隷書を加え、自分らしい作品を制作する。</li> <li>・書道Ⅰ、書道Ⅱで学んだ分野の中から自分が好む分野を選択して創作に取り組む。</li> </ul>

履修学年	科目	必修	授業形態	単位数
高校2年	保健		一斉	1単位

教科書	副読本
最新 保健体育 (大修館書店)	なし

目標・ねらい  
 ・生涯の各段階における健康について学び、適切に対応できるようにする。  
 ・社会生活における健康の保持増進について学ぶ。

注意事項(学習方法・長期休業の課題など)

取り組みについて・・・各テーマについて自分の考えや意見を持ち、積極的に発表することを望む。

評価について

項目	割合	授業時における項目
定期試験	70	定期試験2回
平常点	30	ノート・課題の提出
		授業への取り組み(関心・意欲・態度)

年間授業計画表

	単元	目標
前期	①思春期と健康 ②性への関心と欲求と性行動 ③妊娠・出産と健康	・思春期の心身の発達を理解する。 ・性意識の男女差を理解する。 ・妊娠、出産の過程と妊産婦の健康について理解する。
	④避妊法と人工妊娠中絶 ⑤結婚生活と健康  期末テスト	・家族計画と人工妊娠中絶が女性の体に及ぼす影響について理解する。 ・健康な結婚生活を営むための留意点について学ぶ。
	⑥中高年期と健康 ⑦医薬品とその活用 ⑧医療サービスとその活用 ⑨保健サービスとその活用 ⑩さまざまな保健活動や対策	・加齢に伴う心身のの変化と健康生活について学ぶ。 ・医療制度について学ぶ。 ・医療機関の利用法を学ぶ。 ・介護保険制度について学ぶ。 ・保健行政とその活動を学ぶ。 ・民間機関や国際機関の保健活動や対策について学ぶ。
	・テーマ学習(レポート作成またはプレゼンテーション)  学年末テスト	・これまで学習した内容を深めるためにテーマを一つ選び、レポートをまとめる、またはプレゼンテーションでの発表

履修学年	科目	必修	授業形態	単位数
高校2年	体育		一斉	2単位

教科書	副読本
ステップアップ高校スポーツ(大修館書店)	なし
目標・ねらい	
自己の能力に応じた運動を選択し、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにする。	
注意事項(学習方法・長期休業の課題など)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>授業形態について 前期、後期それぞれ1種目ずつ、クラス毎に実施することとする。</li> </ul>	

評価について

項目	割合	授業時における項目
実技	60	実技
定期試験	30	定期テスト
平常点	10	体育カード、授業態度、授業準備

年間授業計画表

	単元	目標
前期	体育祭準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラジオ体操第2の動作の徹底</li> <li>体育祭の準備</li> </ul>
	卓球(A組)	<ul style="list-style-type: none"> <li>フォアハンド、バックハンド、スマッシュなど各ショットをラリーの中で使い分けることができるようにする。試合の審判、進行ができるようにする。</li> </ul>
	インディアカ(B組)	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本技術の習得(パス、アタック、サーブ)。パスをつなぎ、アタックで攻撃ができる。インディアカのルールを理解し、安全にチームで協力した学習やゲームができる。</li> </ul>
	卓球(B組)	<ul style="list-style-type: none"> <li>フォアハンド、バックハンド、スマッシュなど各ショットをラリーの中で使い分けることができるようにする。試合の審判、進行ができるようにする。</li> </ul>
	インディアカ(A組)	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本技術の習得(パス、アタック、サーブ)。パスをつなぎ、アタックで攻撃ができる。インディアカのルールを理解し、安全にチームで協力した学習やゲームができる。</li> </ul>
	次年度体育祭準備	
	学年末テスト	

履修学年	科目	必修	授業形態	単位数
高校2年	家庭基礎		一斉	1単位

教科書 家庭基礎 (大修館書店)	副読本 ニュービジュアル家庭科 (実教出版)
---------------------	---------------------------

目標・ねらい  
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身につける。

注意事項(学習方法・長期休業の課題など)

- 1 プリント、課題などは必ず提出すること。また、製作物が未完成の場合は、採点の対象にならないので注意すること。
- 2 調理実習では、班で作業することも考え、なるべく欠席のないよう体調管理に注意すること。
- 3 長期休業中には、家庭での実践を含めたレポート等の課題がある。

評価について

項目	割合	授業時における項目
定期試験	60	定期テスト1回
平常点	40	提出物、課題レポートの内容

年間授業計画表

	単元	目標
前期	衣生活をつくる	健康で快適な衣生活を営むための被服管理に必要な、被服材料や被服構成などの基礎的な知識と技術を習得する。製作を通して、個性の表現を工夫する喜びと、物を作り上げる達成感を味わう。
	食生活をつくる	栄養・食品に関する知識を活用し、食品衛生への配慮を考えた調理の実践を通じ、自ら生活を創造するための基礎的技術を習得する。
	住生活をつくる	安全で環境に配慮した住生活を営むために必要な基礎的な知識と技術を身につける。
	経済生活をつくる	消費生活の現状と課題や消費者の権利と責任について理解し、適切な意思決定に基づいて行動できるようにするとともに、生涯を見通した生活における経済の管理や計画について考える。
後期	ホームプロジェクト	自己の家庭生活や地域の生活と関連付けた生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践することを通して、生活を科学的に探究する方法や問題解決の能力を身につける。
	期末テスト	

履修学年	科目	必修	授業形態	単位数
高校2年	社会と情報		一斉	1単位

教科書 社会と情報 (東京書籍)	副教材 Google Classroom
---------------------	-------------------------

目標・ねらい  
コンピュータや情報通信ネットワークなどの活用を通して、情報を適切に判断・処理をするための基礎的な知識技能を習得し、高度情報化社会に対応できる能力を培う。

注意事項(学習方法・長期休業の課題など)

- ・パソコン操作に優れることを目標としていない。  
(ただし、基本的なパソコンの操作の修得は出来るようにする。)
- ・課題は、授業時に終わらせることが前提であるが、終わらない場合は放課後補習という形態をとることがある。
- ・実習を取り入れた授業形態となるので、座学の時間は授業進行が速くなる。座学の前は必ず指定範囲の教科書・テキスト等を読んで概要を把握しておくこと。
- ・定期試験は、後期の冬中間試験及び学年末試験のみ行う。
- ・授業を欠席した場合は、登校した日に授業内容の確認に来ること。
- ・提出物は期限厳守。未提出や提出遅れは平常点の大幅な減点対象となるので注意すること。

評価について

項目	割合(%)	項目内容
定期試験	40	定期試験
平常点	40～60	実習課題、ワークシート等提出物、授業態度など

年間授業計画表

	単元	目標
前期	×	×
	×	×
後期	「情報社会とデジタル技術」 ・音・画像のデジタル化 ・インターネットのしくみ プロジェクト1	デジタル表現の方法・利点・問題点について学ぶ。 インターネットの仕組みやWWW・電子メールサービス、効率よく情報を検索する方法を学ぶ。
	「情報社会と情報システム」 冬中間試験	身の回りにある様々な情報システムを知り、新技術を使った情報システムについて考える。また、情報化の進展による社会の変化を読み取る。
	「情報社会と問題解決」 ・情報格差・テクノストレス ・問題解決の手法 学年末テスト	デジタルデバイド、ユニバーサルデザインを学ぶ。 問題解決の手順と情報機器の活用例を学ぶ。 身近な問題を解決し、発表する能力を養う。

履修学年	科目	必修	授業形態	1単位
高校2年	宗教		一斉	

教科書 聖書 新共同訳続編つき（日本聖書協会）	副読本 なし
<b>目標・ねらい</b> ①学園の建学の精神に触れ、キリスト教の基礎的な知識を身に付ける。 ②キリスト教の歴史を理解する。 ③聖書に触れ、神のメッセージを学ぶ。 ④生徒一人ひとりが神に愛されていることを実感させる。	
<b>注意事項(学習方法・長期休業の課題など)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聖書のみことばと、現代社会の諸問題を関連付けながら、学ぶように導く</li> <li>・修養会などの宗教行事についての事前の準備と、事後の振り返りを行う。</li> <li>・修養会ノートの提出や、課題に対するレポートを定期的に課す。</li> <li>・夏休みには読書感想を書く。(宗教書などの指定は適宜行う)</li> </ul>	

評価について

項目	割合	授業時における項目
宗教への興味・関心	20	修養会ノート、課題
キリスト教についての知識・理解	60	定期試験
キリスト教的価値観を表現する力	20	レポート、授業のノートなど

年間授業計画表

	単元	目標
前期	修学旅行に向けて ・長崎の県民性・文化  ・日本におけるキリスト教の歴史  ・フランシスコ・ザビエルについて	・長崎の県民性・文化を理解する  ・長崎を中心としたキリスト教の歴史や文化についての説明と理解。  ・ザビエルの生涯を学ぶ ・ザビエルの来日から禁教令までのキリスト教の歴史
	・長崎のキリシタン殉教史  ・26聖人  ・マルコ・マリー・ド・ロ神父の生涯 ・マキシミリアの MARIA・コルベ神父の生涯  ・期末試験	・ザビエルの来日から現代までのキリスト教の歴史  ・江戸から明治期におけるキリシタン殉教の歴史。  ・長崎で活動した神父様の生き方を学ぶ。
後期	・キリスト教をテーマにした作品(映画・物語・絵本)に触れる。  ・死について  ・修養会について	・現代におけるキリスト教について理解する。  ・誰にでもおとずれる死について考える。  ・指導司祭の紹介・テーマの確認・ミサや修養会の企画運営。
	・現代社会の諸問題とキリスト教  ・聖書に親しむ  学年末テスト	・生徒一人ひとりが感じる社会的な諸問題を挙げ、キリスト教的なアプローチを試みる。  ・有名な聖書の話、視点を改めて読み、理解する。